

サンパウロ州アダマンチーナ市

「アダマンチーナ高齢者ホーム改築計画」に係る

草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式について

在サンパウロ日本国総領事館

去る8月18日(火)午後3時より、「アダマンチーナ高齢者ホーム改築計画」に係るアダマンチーナ高齢者ホーム・サン・ヴィセンテ・デ・パウロ連携活動協会への我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式を行いました。式典には中前隆博在サンパウロ日本国総領事、ジョゼ・アパレシド・メロ／アダマンチーナ高齢者ホーム理事長、リカルド・トルクワット／アダマンチーナ市長代理、マリア・デ・ルルデス・サントス・ジル／アダマンチーナ市議会議長、エリオ・ジョゼ・ドス・サントス／アダマンチーナ市議会副議長、ノリコ・オオニシ・サイトウ／アダマンチーナ市議会議員、アカシオ・ハガ／アダマンチーナ・文化協会副会長他約100人が出席しました。

会場：アダマンチーナ高齢者ホーム <Lar dos Velhos de Adamantina, Obra Unida a Sociedade de São Vicente de Paulo>

住所：Rua Dr. Benedito Lemes de Souza, 179 – Adamantina – SP

電話番号：(18) 3521-3308

来賓の挨拶：

・中前総領事は、「今年は日伯修好通商航海条約が締結され120周年の節目を迎えた。日本からのブラジル移住は1908年に始まった。今や日系人の方々はブラジル社会と一体となり、各方面でブラジルの発展に貢献されているものと受け止めている。これは、日本人移住者のたゆまない努力もさることながらブラジルの人々が日本からの移住者を寛容な気持ちと暖かい配慮のもとで迎え入れて下さった賜物であると思う。私達日本人とブラジル人はともに高齢者への尊敬の念を大切にす国民である。日伯の友好な関係や今日のアダマンチーナ市があるのも、両国の高齢者のご苦勞のおかげであることをよく理解している。

この度の我が国の協力を通じて高齢者の寝室が建設されることで、高齢者の快適で安全な生活の手助けとなることは我々にとって大きな喜びであり、この協力を通じて日本とアダマンチーナ市民の繋がりがより一層深まる機会になれば嬉しく思う。」と挨拶しました。

・ジョゼ・アパレシド・メーロ理事長は、「アダマンチーナ高齢者ホームの寝室に、破損や雨漏りがあることから寝室を改修する必要があった。そのため、新しく寝室の建設の必要性が生じていた。日本国政府の協力で寝室を建設できたことに感謝したい。あらためて、この協力を頂いたことに日本政府へ感謝の気持ちと敬意を表したい。」と謝辞を述べました。

続いて、ジョゼ・マウロ・デル・カンパリ元理事長、ノリコ・オオニシ・サイトウ市議会議員、マリア・デルルデス・サントス・ジウ市議会議長、アカシオ・ハガ副会長、リカルド・トルクワット市長代理が挨拶を行い、いずれも本件協力を実施した日本政府に対する深い謝意を表明しました。



(開会式)



(アダマンチーナ文化協会関係者)



(ODA プレート序幕)

○上記案件のプロフィール

案件名:「アダマンチーナ高齢者ホーム改築計画」

被供与団体:「アダマンチーナ高齢者ホーム・サン・ヴィセンテ・デ・パウロ連携活動」

プロジェクト実施地:サンパウロ州アダマンチーナ市

契約書名式日:2015年3月3日

供与額:216, 173. 30リアル

案件の概要:「アダマンチーナ高齢者ホーム」は1953年に設立されました。日本移民2名を含む50名ほどの高齢者が入居し福祉及び医療的サポートを行っています。入居者が使用している建物は団体が設立された当時のままであり、破損や雨漏り等老朽化が進んでいたため改築する必要がありました。この度の協力は、施設の改築に対して216, 173. 30リアルを草の根・人間の安全保障無償資金協力として供与したもので、同施設の高齢者の方々がより安全で快適な生活を可能なものとします。

供与品目:寝室建設